



223 団体
86,064 世帯
町田市原町田 4-9-8
042-722-4262
発行人 安達 廣美

2020年度各地区連合会編集委員紹介



木曽地区 編集長

竹島 正

連合会だよりは年4回発行しています。表面は毎年行われる総会・研修会等の報告記事、裏面は各地区の行事など地域情報を掲載しています。編集委員会では執筆者本人が原稿を読み上げ、他の委員からの意見を取り入れ、推敲を重ねた上決定稿となります。決定稿は安達会長の最終確認を終えた後印刷され、各町内会自治会会長を経由して配布されます。こうして出来上がった「連合会だより」をご愛読いただければと思っております。



相原地区 副編集長

井上 正行

連合会だよりは市連の活動の概要を会員に伝えるツールとしての役割を担っております。然しながら、定期発行という性格上、紙面の内容がパターン化してきています。その時々鮮度の高い情報を如何に伝えていくのか知恵の出どころだと思えます。そんなことを考えながら、編集委員として携わっていきたくと考えています。



南地区

編集委員

火ノ川 待雄

金森親和会は物資の乏しい中、結成され60年になり、運営しながら先輩の苦勞が身に染みる、会員も高齢化が進み新しい人へ勧誘の声を心掛けています。南地区の広報は各地域で古く育まれた伝統と行事、開発を見つけ出し市民の皆さんへお知らせできればと考えています。



高ヶ坂・成瀬地区

編集委員

吉川 利道

高北自治会は高ヶ坂成瀬地区連合会の西の端に位置する、100人弱の小さな自治会です。「小さな音楽会」「夕涼み会」「もちつき」「どんど焼き」等の行事を中心に、会員相互の親睦を深める活動を行なっています。また、子供会、各種部活動も行なっています。

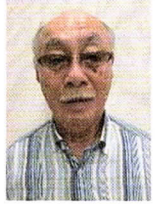


町田第一地区

編集委員

飯田 高信

広報のお仲間にしていただいて3年となりました。文章を書くのが苦手な私ですが、コロナ禍の自粛で思うような活動が出来ない中、安全安心な住みよい町づくりのため、連合会でのお知らせや市内のできごとなど、会員皆様のお役にたてることを発信お伝えできればと考えています。



町田第二地区

編集委員

鈴木 則夫

編集委員を務めて早や5年目になります。これまで連合会の活動を、その都度記事にしてきましたが、今年は新型コロナウイルスの影響でほとんどのイベントが中止になり、記事の取材もなく、残念です。連合会として新たな取り組みが示され、実行される状況を連合会だよりで報告していきたいと思えます。



玉川学園・南大谷地区

編集委員

大野 浩子

当地区では毎年12月に南大谷小学校をお借りして「餅つき大会」を行い、500人を超える参加者で賑わいをみせていましたが、今年はコロナ禍のため中止となり、とても残念です。積極的な活動ができない時期ではありますが、少しでも明るいニュースが届けられたらと思います。



忠生地区

編集委員

田中 幹生

忠生地区を担当しております。当地区は町田市へのソに当たる地区であり、将来的にも多くの発展の余地が残されています。地区の動きをとらえて、市民の皆様が緑と都市の調和を考えてもらえるような記事を載せたいと思います。

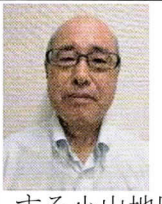


鶴川地区

編集委員

北川 もと

ほぼ50年前、鶴川団地に入居して町田市民になりました。当時は市民ホールはおろか町田に文化施設はほとんどなくて、ようやく整い出した学校の体育館で親子で楽しめる映画の上映会に取り組んだりしていました。クロスワードと漢字パズルが好きで変換ミスにはうるさいです。



小山地区

編集委員

粉川 敏治

町田市の中で西に位置する小山地区は現在も住宅開発が進み、昔からの住民に加え多くの若い世代が転入をしております。コロナ禍の影響で各種イベントが抑制されている中、町内会・自治会の広報活動を更に広めていきたいと思えます。

原稿募集

会員の皆様からの原稿を募集します。各地区での催し物や講演会など様々な行事や取り組みをご紹介下さい。選考の上、連合会だよりに掲載します。ご応募お待ちしております。

詳しくは連合会事務所までご連絡下さい。 042-722-4262 E-mailでも可

避難施設感染防止対策開設訓練行われる

南地区の災害時を想定した避難施設開設訓練が10月11日（日）新型コロナウイルス感染防止対策により参加者を制限して小川小学校で3自治会14名の参加で行われた。

町田市防災課の指導で学校側からは校長・副校長先生が立会われ、防災備蓄倉庫の備品と避難施設開設の手順を確認した。



第一に避難施設入口扉のキーボックスの位置と解除方法を全員で確認した。

第二に災害発生時に混乱が予想される受付の動線を設定し、感染予防対策として「事前受付」を設置し、体調不良の方を振り分ける手順を訓練した。

受付では床に2m間隔のテープを貼り検温測定位置を決め、密にならないように配慮するなどコロナ禍の中で緊迫した状態で本番さながらの状況で行われた。

第三に体育館では居住スペースの配置に一人当たり又は一家族当たりの区画4㎡（2m×2m）のワンタッチパーティション(右上写真)が設置された。

これは家族向けには好感をもたれである。



ワンタッチパーティション素材はナイロン製で柔軟で軽く成形され簡単に組立てが出来るようになっている。

各地域の避難所には新たに「避難施設開設キット」が用意され、感染防止対策として配備されている。収納物品は非接触型体温計関係などが収納されている。

避難施設開設関係者事前確認事項

1. 避難施設開設キットがどこにあるか確認しよう
2. 避難施設開設キットの保管場所への行き方を確認しよう。
3. 避難施設開設キットについている鍵の番号を確認しよう。
4. 避難施設開設キットに何が入っているか確認しよう。
5. その他詳細の確認事項は「町田市避難施設感染防止対策マニュアル ver 1.00」を理解するようにしよう。

編集委員 火ノ川 待雄

交通事故防止、犯罪防止対策運動に参加

「コロナ」禍のもと、8月24日（月）子どもの登下校時の見守り一斉出動式、10月12日（月）には防犯パトロールが町田警察署、南大沢警察署主導で活動（行動）され近隣町内会・自治会をはじめ関係団体が参加、協力をしてまいりました。



3密を避けるため参加人数、団体が限定的でありましたが安心、安全な街であるよう見える形でパトロールが行われました。



今後も市連として子どもの交通事故防止、犯罪抑止につながるよう努力をしてまいりますのでご協力を宜しくお願い致します。

町田市町内会・自治会連合会